

さあ、海へ、山へ、熊野古道へ。

みなべ満喫イラストマップ



いにしえ人の思いを胸に 熊野古道散策マップ

古代から近世にかけて花山法皇や後鳥羽上皇、紀州藩主、田辺領主が参詣された王子社。熊野九十九王子社の本殿の中でも、三鍋王子社と共に古い建造物です。(県指定史跡)

謀反の罪に問われ19歳の命を散らした悲劇の有間皇子が、護送の道中にこの地で松の枝を引き結び「磐代の浜松が枝を引き結び真幸くあらばまた廻り見む」などの歌を詠みました。(県指定史跡)

熊野九十九王子社の中でも最も早くから知られた有名な王子社。熊野詣の人々は岩代の神を敬い祈りを捧げました。(県指定史跡)

千里王子社に隣接する観音堂。王子社の本地仏の如意輪観音と小栗判官が暴風雨から救われた御礼に奉納した馬頭観音が分離して祀られ、厄除け観音としても知られています。

後鳥羽上皇が参詣のみぎりに、絹や綿、馬を奉納したほどの大社。境内には小栗判官が水を飲んだという小栗判官が、社の下は弥生中期の遺跡があります。(県指定史跡)

印南町

みなべ町

田辺市

